

講義名	地域ボランティア演習 B		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	関 和俊 / 北村 裕美		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限 / 後期 木曜日 2時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	4
		講義コード	41072

主題と概要

本演習は、神戸市西区と本学との連携事業の一環として、実際に住民の健康づくり活動を展開していく科目である。地域住民を対象に全3回の健康講座を展開し、健康づくりを中心としたボランティア活動の企画・運営方法を学ぶとともに、これまでに学習してきた指導技術や接遇技術の向上を図る。また、対象者のニーズを理解し、エビデンスに基づいた資料の作成方法について学ぶ。将来、地域の活性化を担える人物の育成を目指す。

到達目標

健康づくり活動の企画・運営方法について学ぶ。
幅広い年齢層に応じた対話力や社会人としての態度を身につける。
Word、Excelを用いて資料が作成できるようになる。

提出課題

振り返りレポート

評価の基準

取組状況・・・75%
振り返りレポート・・・25%

履修にあたっての注意・助言他

地域へ出向くことがあるため、欠席および遅刻は厳禁である。
地域（区民センター「最寄り駅：西神中央駅」）活動の際は、大学に集合した後公共交通機関を使用して移動する。交通費（1回460円、2～3回）は自己負担になる。
本講義は、神戸市西区と本学との連携（インターンシップ）事業であるため、運動指導や保健事業に興味・関心ある者や「健康運動実践指導者」の取得を目指す者は履修を推奨する。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

適宜、資料を配布する。

授業計画

1. プログラムの立案と作成（健康づくりプログラムの作成）
2. ストレッチ指導演習
3. レクリエーション指導演習
4. 筋力トレーニング指導演習
5. 対象者に合わせた資料作成
6. 実践演習（地域における健康指導演習）
7. 実践演習（地域における健康指導演習）
8. 実践演習（地域における健康指導演習）
9. 実践演習（地域における健康指導演習）
10. 実践演習（地域における健康指導演習）
11. 実践演習（地域における健康指導演習）
12. 実践演習（健康講座運営）
13. 実践演習（健康講座運営）
14. 実践演習（健康講座運営）
15. 活動報告書の作成，振り返りとまとめ

予習・復習

<予習>
毎回の指導担当が変わるため、各プログラムの指導のポイントを押さえ、それぞれのセリフを覚えておく。特にステージでの指導は対面となるため、動作の方向とセリフとの対応を理解しておく。
<復習>
教員からのコメント、参加者アンケートなどを参考にして指導の反省点をまとめ、出来なかった点および修正すべき点を

備考